|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 授業科目名 | 日本語表現１ | 教員名 | 松元雅子 | 免許・資格との関係 |  |  |
|  |  |
|  |  |
| 授業形態 | 講義 | 担当形態 | 単独 |  |  |
| 科目番号 | JEX1 | 配当年次 | １年次前期 | 卒業要件 |  | 必修 |
| 単位数 | ２単位 |  |  |  |  |  |
| 科目 |  | | | | | |
| 各科目に含める必要事項 |  | | | | | |
| 一般目標 | ・日本語への関心を高め、日本語の特色を理解する。【日本語への関心・理解】  ・さまざまな表現方法を理解し、自分の考えや心情を表現できる。【表現方法の修得】  ・自分の生き方や社会との関わりに関心を持ち、よりよい生き方を探求する。【生き方の探求】 | | | | | |
| 到達目標 | (1)話題や題材に応じて、情報を分析しつつ、自分の考えを深めることができる。  (2)相手の立場や自分とは異なる考えを尊重し、討論の中で、論拠の妥当性を判断できる。  (3)論理の構成や描写の仕方などを工夫して表現できる。  (4)日本語におけるさまざまな表現法を習得し、効果的に話したり書いたりできる。  (5)読書の幅を広げ、読書に親しむ態度を涵養する。  (6)言語文化に対する関心を持ち、それらを尊重しつつ視野を広げる。 | | | | | |
| ディプロマ・ポリシーとの関係 | 本講義は、学科のディプロマ・ポリシーに掲げる「１．クリティカル・シンキング（批判的・分析的思考法）をベースにした高度な思考（比較、分析、総合、評価）能力を身につけている。２．日本文化と外国の諸文化に対する広範な知識とその比較を通して得た、高い異文化理解・受容能力を身につけている。４．日英両語における高度なコミュニケーション能力を身につけている。」を育成する科目として配置している。 | | | | | |
| 授業の概要 | 価値観の多様化する現代において、言語環境は大きく変容しているが、その中にあって、論理的に思考する力、豊かな発想のもととなる創造力、またそれを表現する力が必要不可欠となっている。本授業では、日本語で適切かつ効果的に表現する能力の育成をめざし、言語感覚を磨くとともに、ディスカッションやディベートを通して相互理解を深めることを目標とする。内容は、短歌の創作や詩の鑑賞、読書活動推進のためのビブリオバトル、文章の書き方講座などである。単元ごとに、創作、相互評価（ディスカッション）、自己評価（レポート）といった言語活動を行う中で、日本語に対する興味・関心を高め、表現することの意義を考えさせたい。 | | | | | |
| 履修条件・  注意事項 |  | | | | | |
| 授業計画 | 第１回：授業概要説明　「表現」の意義について（目標(1)(6)）  第２回：短歌の鑑賞および創作活動（目標(3)(4)(6)）  第３回：短歌作品についてのディスカッション（歌会形式）（目標(2)(6)）  第４回：短歌ディベート（チーム戦）の概要説明と創作活動、ディベート準備（目標(1)(2)(4)）  第５回：短歌ディベートおよび相互評価① （目標(1)(2)(3)）  第６回：短歌ディベートおよび相互評価② （目標(1)(2)(3)）  第７回：ビブリオバトルの概要説明（読書とスピーチ）および準備 （目標(1)(5)）  第８回：ビブリオバトル実践およびディスカッション①（目標(2)(3)(5)）  第９回：ビブリオバトル実践およびディスカッション②（目標(2)(3)(5)）  第１０回：名作に学ぶ表現法（文学作品等を用いた表現学習）（目標(1)(4)(6)）  第１１回：文書講座①文章要約問題および投稿文の書き方と実践（目標(1)(3)）  第１２回：文章講座②文章要約問題および投稿文の相互評価、発表（目標(2)(4)）  第１３回：文章講座③随筆の書き方と実践（目標(1)(3)）  第１４回：文章講座④随筆の相互評価、発表 （目標(2)(4)）  第１５回：「表現」に関するまとめ　「表現」の意義について（目標(1)(4)(6)）  定期試験：日本語表現に関する小論文 | | | | | |
| 学生に対する評価 | 定期試験（40％）、課題・レポート（30％）、発表（30％）を総合して評価する。  なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。  ・コメントを記載して返却する。  ・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。  ・答案例を配布する。 | | | | | |
| 時間外の学習  について | 講義における創作課題については、必ず指定された日までに提出すること。また、ディベートや発表準備を周到に行うこと。事後学習として、単元ごとに課されるレポートを提出すること。 | | | | | |
| 教材にかかわる情報 | 授業時に適宜プリントを配布する。 | | | | | |
| 担当者からの  メッセージ | 特になし | | | | | |
| オフィスアワー | 授業前後の時間。その他必要に応じて行う。 | | | | | |
| 備考 |  | | | | | |